

岡山理科大学 経営学部 経営学科 高橋 良平
マネジメント研究科 1年 桑田 水城 楊銘 大島 蒼目
マネジメント研究科 2年 小橋 陽向 小谷 凌也

キーワード：
地域活性化、ソーシャル・マーケティング、SDGs

研究内容：

学生のSDGsへの関心と企業による社会的価値の創出

- 世界的に学生のSDGsへの関心は高く(Yuan2021, Alvarez-Risco2021 et. al.)、また、企業によるSDGsの実践への関心も高く事業者のSDGsへの取り組みを就業選択の判断基準として考える学生少なくない(石丸2020)。
- 企業によるSDGsの実践では、社会的価値の創出を目指す取り組みである「ソーシャル・マーケティング」が重要となる。
- 本研究は、特にソーシャル・マーケティング分野で関心が高い「環境・エネルギー課題」と、ソーシャル・マーケティング分野での研究不足が指摘(Delva 2023)されている「産業の維持課題」の両課題に取組む企業と、学生との「ソーシャル・マーケティング」事例について、報告する。

岡山理科大学 経営学部・三石中学「社会にいいことをするラボ」

- 岡山理科大学 経営学部では、大学生と企業・団体との協働による社会課題解決を目指す「イノベーション・ラボ」を実施し、成果をあげている。
- そのラボのひとつが、社会的価値があるサービス等を検討する「社会にいいことをするラボ」である。当該ラボは、2021年より岡山県備前市の三石中学校と協働で、地域課題解決に向けての活動をおこなってきた。

社会にいいことをするラボ

大学生と中学生との共同で実施する課題解決ゼミ
「社会・地域・仲間・自分」をより素晴らしいものに
するため活動。

- 目標：・社会の課題解決を目指す
・地域の産業と社会の発展に貢献する
・取り組む課題と解決方法をゼミ全員で考える
・ゼミのチームの一員として積極的に発言をする



出所：ゼミメンバー撮影

the continue. との出会いと再生備前「RI-CO」が提供するソーシャル・グッド
社会にいいことをするラボでは、備前市の伝統産業である備前焼の課題の調査

“おかやま”が誇る伝統産業「備前焼」を守りたい

家庭から出る「埋め立てごみ」で最も多いのは、陶磁器類

上記の社会課題解決を実現する企業、株式会社 the continue. に注目

The continue.の再生備前ブランド「RI-CO」

備前焼の廃棄物を再資源化

おいしいコーヒーが味わえる
カップに再生



出所：株式会社the continue. 写真提供

岡山理大・三石中学・the continue.のソーシャル・マーケティング

- SDGsを大学生と学んだ三石中学校の生徒と、持続可能な社会についてのメッセージ・イラストを作成し、それらを集約して「RI-CO」のロゴを作成。
- ロゴ、メッセージ・イラストを用いて、無印良品・天満屋でプロモーション、環境イベント等でのPRなどソーシャル・マーケティングを展開。



出所：ゼミメンバー撮影



出所：ゼミメンバー撮影



住所：岡山市北区理大町1-1
☎：(086)256-9598
✉：r-takahashi@ous.ac.jp
URL：https://www.mgt.ous.ac.jp/staff/takahashi/

研究の目的・背景：

現在、SDGsへの参画など、社会貢献、社会的価値の創出を目指す、企業による戦略的ソーシャル・マーケティングが注目されつつある(芳賀2014)。
本研究では、環境問題・地場産業の革新に取り組む企業に注目し、産学の協働で推進するソーシャル・マーケティングの取り組みを報告する。

期待される効果・応用分野：

- 企業による、社会貢献活動を、戦略的ソーシャル・マーケティングの視点で解析、創出した社会的価値を可視化
- ソーシャル・マーケティング分野での、企業・地元の小中学校・大学等の産学連携を推進
- 社会に対して良いインパクトを与える製品・サービスである「ソーシャル・グッド」の開発を進める事業者と情報発信を支援

アピールポイント：

- 岡山理科大学経営学部の学生と、企業・団体等との協働による社会課題解決プログラム“イノベーション・ラボ”の枠組みで、戦略的ソーシャル・マーケティングの実践が可能に
- 学生のアイデアにより「ソーシャル・グッド」の開発を支援

つながりたい分野：

- 社会に対して良いインパクトを与える製品・サービス「ソーシャル・グッド」を開発・提供する事業者
- 自社の社会貢献を可視化し、効果を可視化したい事業者